

緊急シンポジウム

みんなで話そう

# 新型出生前診断は だれのため？ NIPT

妊婦の血液から胎児の染色体数を調べる新型出生前診断（NIPT）を  
どんな医療機関で、どのように提供するかについての議論が再び始まろうとしています。  
女性の選択肢確保のための実施拡大をと言う産婦人科医もいますが  
実際には、多くの女性が検査を受けるかどうかをめぐって葛藤し、  
検査結果を理由に中絶を選んだ場合に苦しみを抱えるなどの現実があります。  
厚生労働省も、この夏、国としての検討に乗り出すこととなりました。  
この問題に、私たちの社会はどう向き合っていけばよいのでしょうか。  
さまざまな人の声を聴くこと、そして話すことから始めてみませんか。

日時

2019年 **8月11日**（日） 13:00～16:30（開場12:40）

会場

江戸東京博物館 1階会議室（定員 150名）※手話通訳・PC文字通訳あり  
※お子さま連れ歓迎

参加費

1000円（資料代）

※資料不要の介助者分は無料

※点字資料をご希望の方は、8月1日までに下記にEメールで

お申し込みください。情報担当 浜島：katanasii2015@gmail.com

## 【プログラム】

- 出生前診断をめぐる現状 **利光恵子**さん（立命館大学生存学研究所客員研究員）
- 寄り添うサポートを目指して **林伸彦**さん（NPO法人親子の未来を支える会）
- 『選べなかった命』善悪の先にあるもの **河合香織**さん（ノンフィクション作家）  
フロア発言者あり

主催：8/11「新型出生前診断はだれのため？」  
東京集会実行委員会

共催：グループ生殖医療と差別、DPI女性障害者ネットワーク、  
京都ダウン症児を育てる親の会、神経筋疾患ネットワーク、  
DNA問題研究会、SOSHIREN女（わたし）のからだから、  
フィンレージの会、ゲノム問題検討会議

お問合せ 〒556-0005大阪市浪速区日本橋5-15-2-110 ここ・からサロン気付  
グループ生殖医療と差別（佐々木和子）☎090-8208-8622

kazuko-s@white.plala.or.jp



◆JR総武線 両国駅西口 徒歩3分

◆都営地下鉄大江戸線 両国駅 A4出口 徒歩1分

資料準備の関係上、ご出席の方は件名を「811参加希望」としてメールをお送りいただくと助かります。  
メール送付先：SOSHIREN女（わたし）のからだから [gogo.soshiren@gmail.com](mailto:gogo.soshiren@gmail.com)  
（当日までにメール送付なしの方も、ぜひお越しください。）